

# No.75 新潟県小千谷市（二地域居住実証事業）

地域力創造アドバイザー	堀口 正裕 氏（A515）
活用分野	関係人口の創出・拡大（滞在・活動の場づくり、地域と関係人口の協働に取り組む）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和10年度（月1, 2回程度）
キーワード	#二地域居住 #実証事業 #関係人口 #移住・定住 #地域おこし協力隊 #情報発信

## 【目的】

・二地域居住実証事業を通じて、当市の二地域居住の可能性を研究し、地方における多様な働き方や暮らし方を実現するための課題やその解決の方策を調査・実践する。

・3年間で当市での二地域居住実践者300人、そのうち3年累計で100人の移住者の実現を目指す。

## 【内容】

- ・二地域居住に関する現状分析および課題抽出
- ・二地域居住者の誘致、受け入れ、定着に関する具体的な施策の提案および助言
- ・二地域居住者と地域住民との交流促進や地域活動への参加促進に関する助言
- ・二地域居住に関する情報発信・プロモーション



（市職員、地元企業に向けたセミナー開催）

## 【成果（見込み）】

・地元企業、自治体、外部メンバーで構成する「関係人口創出会議」を開催し、二地域居住者を巻き込んだ市民総参加イベント等の企画を通じ、地元との一体感や協働で取り組む意識を醸成する。

・市外から様々な知見を持つ専門家を小千谷市に集め、現地フィールドワークなどを実施する。そこで得た情報をもとに、二地域居住や移住・定住に関する課題を深掘りし、課題解決に向け継続的に関わってもらえる人材を獲得する。

・地域の魅力・人・アイデアに触れながら「ローカルビジネスのリアル」と「二拠点生活の可能性」を体験できる現地イベントを定期的で開催し、「小千谷市への関心層」を獲得する。

・空き家・リノベーション・DIYをキーワードに、二地域居住希望者が自ら空き家を再生する。その後、活用者を募り、実際に起業する人材の獲得及び空き家の有効活用を図る。

・移住専門メディアTURNSを活用し、小千谷市公式での発信を強化する地域おこし協力隊



（地元企業への聞き取り調査）

（1名）採用決定。市公式NOTEを企画・運営し、小千谷市に暮らす・関わる為の情報発信を強化。